

株式会社 Medixpost

医師の知識アップデート効率向上のためのプラットフォーム構築

医療情報の急増により医師の知識アップデートがますます難しくなっている。知識アップデートの効率化のため、重要情報を共有・取得できる医師専用プラットフォームを構築し、リリースした。

代表者 大平 純一郎

設立 2022年9月8日

資本金 3,000千円

業種 情報サービス業

所在地 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地
ASTEMビル8階

URL https://company.medixpost.jp

E-mail HPより問い合わせください

主要製品 Medixpost

脳神経内科の領域において知見を共有できる医師専用のプラットフォーム

得意分野

医療系 IT 分野



Medixpost プラットフォーム

取組のきっかけ

◆優先すべき課題

医師は極めて多忙です。その中で最新知見を入手することは必要と感じつつも、得べき知見が年々増え続け膨大となり、不十分になっていました。臨床に没頭していた7年間、多忙な中でも効率的に知見を獲得することが、多くの医師の優先すべき課題であると感じていました。大学院に進学し「医師として以外の形で社会に還元できることはないか」と考えるようになり、医師業務の質向上と業務効率化を実現するため、医師専用プラットフォームの構築に取り組みました。

◆医療の質向上と医師業務の効率化

医師はそれぞれの診療科の中で得意分野（専門分野）を持っていますが、得意分野以外の診療も求められており、広い分野の最新知識が必要であるため、知識のアップデートを必要としています。本サービスは様々な得意分野

を持った医師たちに共通のプラットフォームを提供し、お互いの知見を共有することで、多忙でも手軽に専門的な知見を得ることを可能とします。結果として、医療の質向上と医師業務の効率化を実現する取組となります。

取組内容

◆医師のニーズ

事前調査として脳神経内科医95人に、プラットフォームに関するヒアリングを実施しました。医学的知識のアップデートが不十分であると認識している人数は90人、また専門分野に関するアウトプットが可能と回答した人数は35人でした。医学的知識の効率的なインプットを多くの先生が望んでおり、アウトプットが可能な先生も一定数いらっしゃったため、質の高い投稿を十分量確保しながら、需要に対応できる取組になると考えました。

◆プラットフォームの立ち上げ

高校の同級生の協力を得て、プロトタイプシステムを立ち上げました。運用は近畿圏の身近な医師から始め、持続可能なプラットフォームにするため、医師が知見を積極的にアップロードしたくなるような仕組みを構築しました。そのキーファクターとして、①医師のみが所属しているセキュアな環境、②他の医師からの評価やコメントが入力できるフォーマットやフォロー機能、③貢献度が高い医師へのリターン等です。

◆プロトタイプを改良する

補助事業の具体的な取組として、①ユーザーインターフェースを改善し、多様なデバイスで快適に記事の投稿・検索・閲覧を可能にしました。②エンゲージメント向上のため、トップページ下部に新着コメントや人気記事の一覧機能を追加しました。③より多くの医師を巻き込むため、専用ホームページを開設し、アクセスデータ分析を可能にしてプロダクト開発に活かしました。④高速かつ安定したサービスデリバリーを行うため、配信の最適化と負荷分散機能を持つCloudfrontを活用しました。またServerless構成の採用で、アクセス増減による可用性の担保、サーバー費用の抑制、開発環境でのテストビリティが担保されるというメリットがありました。

◆当社が選ばれる理由

製薬企業等のマーケティング支援でマネタイズしており、登録医師は無料で使用できます。最新知見を得たいと思う医師へのターゲティング広告が可能で、製薬企業から高い評価を得ています。理由は、Medixpostが①知識を得る場所と医師から認知を得ていること、②明日からの臨床に役立つ情報を取り上げており、医師の行動変容に直結するモデルとなっていること、③そのため、情報が届く深度が深いことです。結果として、当社へ乗り換える（リプレイス）企業が増えています。

ビジネスモデル 医薬品デジタルマーケティング市場をターゲット



今後の展開

◆プラットフォームの登録状況

登録医師を獲得するため、当初は経営者の母校である京都大学のネットワークを活用しました。次に学会で展示ブースを出展しました。年間10回以上の積極的な出展効果もあり、現在、他の診療科を含め6,000人以上の医師から登録をいただき、脳神経内科医師の5割以上（3,000人以上）がMedixpostを利用しています。この立ち上げ初期の熱量は、今もMedixpostの文化に根付いています。

実績：日本の脳神経内科医の半数以上を獲得

日本の脳神経内科医は、5,833人

ユーザー数 3,000人（51%）
（他診療科医師含めると約6,000人）

閲覧数 22,000PV / 月

アクティブ率 50%（脳神経内科医・月間）



ユーザー登録実績

◆Medixpostで知識共有

Medixpostでは、登録した医師が得意分野に関して、臨床に役立つ形で知識を実名でシェアしています。情報が臨床に活用できる状態にまで、噛み砕かれた形で入手できます。認知症薬の使い分けのようなテーマで「どの薬を、どの患者に、どう使い分けているか」といった実際の知見が実名で共有され、ディスカッションされています。これまで届かなかったような知識に、信頼性が担保された形でアクセスするのが特徴です。また投稿を維持するために投稿医側のメリットも工夫しています。具体的には①書籍化につながる可能性がある、②自分の論文を要約して広められる、③全国の先生と繋がりが持てることです。実際に2024年と2025年にMedixpostから発信されたコンテンツを集め、投稿医による共同執筆として書籍化しました。



◆ちょっと困ったらMedixpost

現時点で、脳神経内科領域においてPMF（プロダクトマーケットフィット）を達成したと考えていますが、まだ足りない機能はたくさんあります。まず、プラットフォームとしてのブックマークの強化と臨床ツールのコンテンツを拡張し、脳神経内科に関連する良質な投稿記事を充実させることです。またモバイルアプリで記事サイトを閲覧できる仕組みを作り、「ちょっと困ったらMedixpost」と手元でアクセスできる環境を目指しています。